

①

(追加決定)
免状子規17名追加
別紙配布 10名追加
公第へ送付. 推進者口
報告書

2660

昭和58年4月4日

各教授殿

医学部長 三浦祐晶

第7回教授会の開催について(通知)

標記教授会を下記により開催いたしますから御出席願います。

記

- 1. 日 時 昭和58年4月21日 (木)
大学院医学研究科委員会終了後
- 1. 場 所 医学部第一会議室
- 1. 議 題
 - 1. 人事について
 - 1) 名誉教授の内申について
 - 2) 学部長事務代理について
 - 3) 病院長事務代理について
 - 4) 評議員の選出について
 - 5) 教授候補者の選定について
 - 6) 各種委員会委員について
 - 2. 昭和58年度教務関係行事予定について
 - 3. 昭和58年度医学部研究生許可について
 - 4. アイヌ人体骨標本について
 - 5. その他

開会
由

15:30

16:48

議事は完了。 4月1日付け人事異動に

伴に専断者の紹介を行う。

○ (転出者)

事務長 田中昭一 文芸部事務長へ

庶務掛長 工藤啓三 学生部学生課学生掛長へ

営繕掛長 二階堂正治 理学部営繕掛長へ

○ (転入者)

事務長 木元和博 水産学部事務長から

庶務掛長 奥山幹久 学生部厚生課福祉掛長から

営繕掛長 歌川 昇 施設部企画課企画掛長から

議 題

1. 人事について

1) 名誉教授の内申について

4月1日限りで停年により退官された [redacted] 先生の本

学名誉教授の称号授与に關する内申を ^(name is for) 北海道大学名

が得たことによりおこなうこと

名誉教授称号授与規程第2条第1項にもとづき行うこと

について諮り、了承を得る。

(本学における教授歴)

39. 10. / 北海道大学教授

58. 4. / " 停年

} 12年6月

9-

延期

2) 学部長事務代理について

議長から、学部長の外国出張期間中（5月~~21~~日
～6月~~21~~¹⁰日まで）における事務代理を飯田 茂穂
に依頼したい旨、語り了承を得る。

⑨ 出張先

インドネシア マレーシア シンガポール

3) 病院長事務代理について

議長から、病院長の海外研修旅行期間中（5月27日～

6月3日まで）における事務代理を希望 教授に

依頼したい旨 語り、了承を得る。

④ 研修旅行先

アメリカ合衆国

研究員 〇〇君

4) 評議員の送出について

現評議員である伊藤教授の任期が本年5月31日
付けをもち満了することを報告し、後任評議員の選
出について「医学部評議員送出に関する暫定的申し合
せ事項」に基づき、筆記無記名投票を行うことについて
諮り、投票を行う。

① 任期 58.6.1 ~ 60.5.31 (24年)

G- 取次 伊藤 教授
(伊藤教授の任期満了に伴い)
(後任を指名)

後任の指名: 候補 1 名 1 名の候補者を指名
Gは 候補者のうち 2 名
GIF 2/15 終了 1 名 1 名 1 名

10月 ①

伊藤 教授 (過半数)

小室 教授 (①) 伊藤 教授 (①) 伊藤 教授 (①) 伊藤 教授 (①) 伊藤 教授 (①) 伊藤 教授 (①) 伊藤 教授 (①) 伊藤 教授 (①) 伊藤 教授 (①) 伊藤 教授 (①)

20月 ②

伊藤 教授 (過半数)

30月 ③

伊藤 教授 (上位2名)

5) 教授候補者の選定について

議長から、58年度に新設された核医学講座の
新設に係る事

教授候補者の選定を「医学部教授候補者選定内規」

にもつき開始することについて諮る。

この旨を通知する。 内規第10条
この旨を通知する。

○北海道大学医学部教授候補者選定内規

(昭和41年10月27日)

第1章 教授候補者の選定

第1条 学部長は、つぎの場合に教授会にはかり教授候補者の選定を行う。

一 教授に欠員(定年、退職、転任、死亡等)を生じ、または生ずることが確実な場合。

二 新設または増設の講座および部門の教授を必要とする場合。

第2条 教授候補者の選定については、選考開始の少なくとも1ヶ月以前に学部長がその旨を教授会において予告する。

第2章 候補者の推薦

第3条 第2条により予告がなされた場合には、学部長は直ちに候補者の推薦を関係者に要請する。

第4条 教授候補者の推薦はつぎの各号に従って行われる。

一 学部長の名をもって各大学等に候補者の推薦を依頼する。

二 医学部教官はつぎのごとく候補者を推薦することができる。

イ 当該講座または部門の教授は5名以内(死亡の場合には遺言によることができる。)ただし、被免された場合には推薦することができない。

ロ 同名講座の教授は3名以内。

ハ 異名の講座または部門の教授は2名以内。

ニ 当該および同名の講座または部門の助教授および専任講師は2名以内。

三 選考委員会は候補者を追加することができる。

第5条 前条第2号により教授候補者を推薦しようとする者は、候補者の氏名および所属等を所定の用紙に候補者ごとに記入し、無記名のまま指定の教授会の際に所定の函に投入するものとする。

5/20 紀又印
5/26 紀又印
中道不審みんをともひのたけ
たけのりしんかまかん

6) 各種委員会委員について

学内、学部内各種委員会等委員について 別款

資料(1)にもとづき 諮り了承を得る。

川上と小柳 ねむり 今一軒 (取り戻す入る) して
あすこ。

2. 昭和58年度歳務関係行季予定について

概説について、別紙資料(2)にもとづき説明
を付し、次いで原案どおり決定する方向で諮

り、了承を得る。

3

3. 昭和58年度 医学部 研究生許可について

昭和58年度 医学部 研究生

男

(国籍 [redacted]) の入学許可について 別紙資料(2)

にまつき 諮り、決定する。

昭和58年 11月 14日 学部長 均

9. 42外紀新... 1744の... 内... 直... 等...
... 中... の...

4. アイヌ人体骨標本について

昭和55年11月

なる人物から、学長あて 北大医学部で戦

前から収集したアイヌ人の骨格標本を多数保存して

いるが、これを遺族に返してほしい。勿論民族資料

装飾品等も返してほしいとの要請があった。その後

本学として調査をするとのこととで学長名をもって回答

した。「その際装飾品については大学の管理下にな

らるものが多い(故[]の私物であるため)こと

を付記した。」

その後再三にわたり []の文書による

接衝及び函談を重ねたが、人体骨は大学として

貴重な研究資料であるため、大学で保管させてほしいとの

大学側の懇請がきき入れられず、折り合いが付かなか

った。その内、昭和57年6月、北海道ウタリ協会

理事長より本学学長宛に「犠牲者に対し、誠意ある

供養を将来にわたってとらねたい」、「遺族である個人

が、地域が希望するときは霊骨を返却してほしい」

との書簡が届いた。この件に関し数回同協会と

話し合いを持ち、本学部としては関係教授と協議

の上、遺族等が希望するのであれば返却すること

もやむを得ないとの結論となり、今後は返却

する方向で折衝することとなった。

本年1月24日、ウタリ協会理事長外7名が本学

部の人体骨保管状況を視察に末校し、その折種々

の問題点が提起された。その中心は、アイヌ人体骨の

遺族関係者の大多数は先祖を供養したいとの

希望が非常に強いことから、アイヌ式(イヌイ)で供

養するため人体骨を1ヶ所に集めた納骨堂のような

施設を大学側で設置してほしい。又、年1回供養祭

を実施するが、それに要する費用も大学側で全て負担

してほしいとの要請があった。この件につき事務局

関係者と協議をしたところ、医学部としてどのような

受けとめ方が、態度をはっきりさせてほしい旨の

要請がありました。一例として現在の人体骨を保

管している部屋をもろ少し改修し整備するような

○ 考えはどうか、医学部の敷地内に別棟としての建物を

を建てる考えはどうか、その他、北大構内以外に

土地、建物を確保するようには考えはないか等々の

話し合いがなされ、医学部としての考え方を求め

られていることを報告する。

これに基づき、医学部としての考え方につき審議

する。

◎ アイヌ人体骨標本の保存問題について

1. ウタリ協会の要請について

1) 人体骨標本を1ヶ所に集め、霊を安置する施設を設置すること。

2) 又、毎年1回 供養祭をアイヌ式(イナルパ)で実施するための経費の全てを大学側で負担すること。

2. 上記1.に対する学部の考え方 (案)

1) 上記1.の1)の要請に対し、このような施設を設置しない。とした場合大学側として納得のいく説明をすることは非常に難しいと思われる。

このことよって社会的、道義的にマスコミ等が介入し、強いては国会論争の問題にも発展しかねないものと危惧される。

従って大学(医学部)としては、何らかの方策を講じ誠意をもって対応すべきであろう。

2) 霊を安置する施設を設置するとした場合の方法

① 医学部既存の保管室を改修、整備する方法

(問題点)

- ・改修、整備しても、供養祭を行うスペースが少なく、又、他の研究室と隣接しており、儀式等を行う

場合騒音等で研究に支障をきたすので困難である。

② 学部以外の場所に設置する方法。

(向題点)

- ・ 他部局の敷地に設置を考へるとしても、それぞれの部局での将来計画が、おいて困難と思われる。
- ・ 又、アイヌに関連のある文学部附属北方文化研究施設(=風谷)に要請するとしても、アイヌの地域意識から、いって不可能と思われる。
- ・ 霊園等(例えば里塚霊園、石狩霊園等)の土地を確保(約200 m^2)することを考へるとしても、予算獲得上、不可能と思われる。

③ 医学部の敷地内に設置する方法

- ・ 既存の建物外に設置すること。
- ・ 将来建設予定の建物外に設置すること。
- ・ 設置しようとした場合は、70 m^2 位の小規模の建物のため、スペースはある。

・ 予定地としては、種々考へてはみたが、医学部の
建物と病院の建物から一番遠い別紙図面の
場所が適当と思われる。

等から、この方法が一番適当ではないかと思われる。

○ 3) 施設を設置した場合の管理運営の方法。

① ウチ川協会側で管理したいと主張しているが、国有
財産である以上、大学側で管理する以外にはない。

4) 上記 1 の 2) に対する学部の方(案)毎年
1回実施する供養祭の費用負担を専らしている
が--- (儀式の供物代、各地区から集る者の旅費
等) 不可能であるとしても、具体的内容を把握し
た上、今後双方で協議して行く必要かあると
思われる。

29
01113
18
77

5. その他

1) 会議報告

④ 学生部委員会 3月24日 4月12日 牧田 敬授

① ⑤ 保健管理センター 3月30日 学部長
運営委員会

③ ⑥ 国際交流事業後援会 3月30日 学部長
設置準備委員会

③ ⑦ 部局長連絡会議 (4月13日) 学部長
(4月20日)

④ ⑧ 敬愛部審議会 4月13日 学部長

② ⑨ 評議会 4月20日 学部長

7/2(11土) 大型計算機 ① 新入生 5/1 早稲田
部員管理委員会

③ 59年度批准委員会

海大学第331号

昭和58年3月18日

- 報告事項
1. 学寮問題について
 2. 学生の動向について
 3. その他

学生部委員 牧田 章 殿

学生部長 内田 文



臨時学生部委員会の開催について

このことについて、下記のとおり開催いたしますので、
御出席願います。

記

日時 昭和58年3月24日(木) 14時～

場所 学生部会議室

- 議題
1. 一般学生の新しい学生寮への入寮選考について
 2. 昭和58年度入学生の新しい学生寮への入寮募集について
 3. 学生関係施設の整備計画について
 4. 女子寮の建設予定地について
 5. その他

海大学第 450 号

昭和 58 年 4 月 7 日

学生部委員会委員

牧田 章 殿

学生部長 小林



定例学生部委員会の開催について

このことについて、下記のとおり開催いたしますので、御出席
願います。

記

日 時 ; 昭和 58 年 4 月 / 2 日 (火) / 4 時 ~

場 所 ; 学生部会議室

議 題

1. 小委員会構成と小委員長・同補佐の選出について
2. 大滝セミナーハウス運営委員会委員の選出について
3. クラーク会館委員会委員の選出について
4. 学生相談組織等検討委員会委員について
5. 昭和 59 年度概算要求について
6. 昭和 58 年度入学科免除者選考の取り扱いについて



7. 昭和 58 年度前期分授業料免除者 (留年学生を含む) 選考の取り扱いについて
8. 昭和 58 年度日本証券奨学財団奨学生選考の取り扱いについて
9. 昭和 58 年度入学者の入寮選考について
10. その他

報告事項

1. 昭和 58 年度日本育英会奨学生 (大学院) 第 1 回推薦可能数の各研究科配分について
2. 学寮問題について
3. 学生の動向について
4. その他

海大保管第 48 号

昭和 58 年 3 月 3 日

医学部長 殿

保健管理センター所長 高橋香織

保健管理センター運営委員会の開催について-第3回-
(通知)

このことについて、下記により開催いたしますので
ご出席願います。

記

日 時 昭和 58 年 3 月 30 日(水) 午前 10 時 30 分から(約 1 時間予定)

場 所 保健管理センター 2 階新館

議 題 ① 昭和 58 年度 定期健康診断の実施計画(案)について
② その他

報告事項 ① 昭和 57 年度 定期健康診断の実施結果について
② その他

皇位状況は 幸い to m m

※ お手数ですが出席の有無を保健課事務掛(内線 2025-3692)に連絡願います。

昭和58年3月25日

北海道大学国際交流事業後援会

設置準備委員会

委員 三浦祐晶 殿

北海道大学国際交流事業後援会

設置準備委員会

委員長 有江幹易

北海道大学国際交流事業後援会設置準備

委員会(第7回)の開催について(通知)

標記会議を下記により開催いたしますから、御出席くださ
さい。

記

日時 昭和58年3月30日(水) 午後2時

場所 事務局第一会議室

議題 1. 後援会の組織について

① 一覽表を印字した後主入の件

← 同表を

海大第764号

昭和58年4月7日

医学部長殿

学長 有江幹男

部局長連絡会議の開催について（通知）

標記会議を下記により開催しますので、御出席ください。

記

日時 昭和58年4月13日（水）

午後2時00分開会

午後4時00分終了予定

場所 事務局第一会議室

- 議題
1. 聴講生等の検定料等の額に関する規程の一部を改正する規程(案)について。
 2. 北海道大学大学院環境科学研究科規程の一部を改正する規程(案)について
 - ① ③ 北海道大学医学部附属病院規程の一部を改正する規程(案)について 孝協の 名簿をお見せ
 - ④ 北海道大学歯学部附属病院規程の一部を改正する規程(案)について
 5. 学長の外国出張に伴う同事務代理について

報告事項

- ① 規程の制定について
- ② ② 学生部関係について 2005年の変更
11月の入客が完了
- ③ ③ その他 本会議の 変更について

なお、出席の有無を会議前日までに庶務課総務掛（2005、

2006）まで御連絡ください。

昭和58年4月7日

放養部審議会委員

医学部長殿

学長 有江 幹男

放養部審議会の開催について(通知)

標記会議を下記により開催いたしますので御出席願
います。

記

日時： 4月13日(水) 部局長連絡会議終了後引き
続き開会

場所： 事務局第二会議室

議題： ① 系列学生定員について
2. 統計学について

なお、引き続き「学部移行時期について」その後の検
討状況の報告並びに意見交換を行う予定ですのでお含
みあさ願います。

海大第 852 号

昭和 58 年 4 月 14 日

各 評 議 員 殿

学 長 有 江 幹 男

評 議 会 の 開 催 に つ い て (通 知)

標記会議を下記により開催しますので、御出席ください。

記

日 時 昭和 58 年 4 月 20 日 (水)
午後 2 時 00 分開 会
午後 4 時 00 分終了予定

場 所 事務局大会議室

議 題

1. 聴講生等の検定料等の額に関する規程の一部を改正する規程(案)について
 2. 北海道大学大学院環境科学研究科規程の一部を改正する規程(案)について
 3. 北海道大学医学部附属病院規程の一部を改正する規程(案)について
 4. 北海道大学歯学部附属病院規程の一部を改正する規程(案)について
 5. 学長の外国出張に伴う同事務代理について
- 報告事項
1. 規程の制定について
 2. 学生部関係について
 3. その他

なお、出席の有無を会議前日までに庶務課総務掛(2005、2006)まで御連絡ください。

基礎系教官総誤会

(58. 4. 21)

1. 人事関係

① 教官の異動

~~停年退官 58. 4. 1 件~~

~~辞 取 58. 3. 31 付~~

~~休 取 58. 4. 1 付~~

~~採 用 "~~

~~" "~~

~~" "~~

2. 教務関係

① 進学式及びオリエンテーションについて

[松宮 教務副を任かり、去る4月9日(土)10時から進学者 121名、教官8名 出席のもとにサ5講堂で実施したことを報告。

② 医准課程入学者のガイダンスについて

~~松宮 教務副を任かり~~、去る4月13日(水)13時から蔵部 E 202において学部長、広重教授出席のもとに実施したことを報告 (20名の入) 2

2) 次回教授会開催日は 5月12日(木) とし、

旨語り. 決定する. 5/26日
6/16日.

人事 1/14

推進と新設の件

おたの枝子 現 筆控 対応

紀事は 同為 活版 対応 推進 子以

2000年 対応 同為 対応

今 筆控 と 対応 対応

9/13 了

進行 5/15 - 2 活版

次 期に 枝子 中 と 対応, 活版 対応 対応

対応. 2000年 1/14 対応. 6/15 活版 対応

枝子 対応 小 対応

6/16 活版 対応

6/16 活版 対応

(5/16 17 10 活版)

6/16 活版 対応

6/16 活版 対応

6/16
欠 活版
川上
枝子
幸
枝子(1)
枝子

5/12 3/4. 5/16. 函 函 北 海 道 大 学 研 究 所 (洋野紙1号)

5/27 2/2.